

項 目	取組事項・目標等	目標達成状況
1 事務事業の見直し (1) 事務事業の整理・合理化	・事務事業の整理・合理化 1【H27～R1: 市温浴施設等の使用料金の見直し検討】 2【H29: (一財)とやま・ふくおか家族旅行村公社の経営健全化の検証】 3【H29: (一社)高岡市自然休養村公社の経営健全化の検証】 4【H30～R4: 事務事業の見直しによる歳出削減】 5【R1～: 補助金の基本的な考え方の策定及び方針に基づく補助金の整理】	◎達成 ・市温浴施設等の使用料金の見直し（入浴施設廃止） ・とやま・ふくおか家族旅行村公社、高岡市自然休養村公社の解散 ・財政健全化緊急プログラム 公共（的）施設管理コストの縮減 H30～R4目標：△6億円 ⇒実績：△6.9億円 事務事業の見直し H30～R4目標：△15億円 ⇒実績：△17.2億円 ◎達成 ・補助金評価の施行評価実施、制度に基づく補助金評価実施
(2) 評価手法の活用	・評価手法を活用したアカウンタビリティの確保 6【R2～R3: 総合計画第4次基本計画の策定に向けた目標指標の再検討】 7【H29～: 新地方公会計制度に基づく財務書類の作成・公表及びその活用】	◎達成 ・総合計画目標指標の設定 （「まちづくり指標」に掲げる目標値の達成状況の検証及び評価） ・新地方公会計制度に基づく固定資産台帳整理、財務書類の公表 ・施設のセグメント分析（文化系施設、屋内スポーツ施設）を実施
(3) 事務効率の向上	・ICTの活用 8【～H29: 社会保障・税番号制度の導入・対応】 9【R2～: コンビニエンスストアにおける自動交付サービス対象の拡大】 10【R1～: RPAを活用した事務作業の効率化（実証実験を含む）】 11【R2～: 自治体クラウドの導入・活用（基幹システム）】 ・行政手続の電子化 12【R2～: 電子申請の推進】 13【～R4: マイナンバーカードの普及促進】 ・新たな文書管理体制の検討 14【～R4: 文書管理の電子システム導入】 ・広域行政圏の連携強化 15【H28～: とやま呉西圏域連携中枢都市圏事業の実施】 16【R2～: 次期都市圏ビジョン策定に向けた取組み】 17【R2～: 自治体クラウドの導入・活用（基幹システム）】 18【R3: 氷見市消防との消防広域化】	◎達成 ・情報連携、マイナポータル本格運用開始 ※証明書等のコンビニエンスストア交付サービスの導入：費用対効果や運用実績を踏まえ対象拡大は見送り ◎達成 ・RPAの活用による業務省力化（会計業務、消耗品発注業務） ◎達成 ・自治体クラウドシステム稼働（基幹システム） ◎達成 ・電子申請利用開始 ◎達成見込 ・マイナンバーカード普及に向けた各種取組推進 ◎達成見込 ・文書管理システムの導入に向けた課題整理 ◎達成 ・とやま呉西圏域連携中枢都市圏ビジョン策定 ・氷見市との消防広域化開始
(4) 民間活力の活用の推進	指定管理者制度の有効活用による効果的・効率的な施設経営 19【R1～: 指定管理制度の見直し及び指定管理マニュアル改訂】 民間委託の推進 20【H27～: 市民病院給食部門の業務委託拡大】 21【R2～: ストックヤードの民間委託化】 民間化の推進 22【～R1: 保育所2園程度の民間化】 23【R2: だいがりデイサービスセンターの民間化】	◎達成 ・指定管理マニュアルの改訂 ◎達成 ・市民病院給食調理部門の業務委託化 ・高岡市ストックヤードの民間委託 ◎達成 ・牧野みどり、能町保育園の民間化 ・だいがりデイサービスセンターの民間化

項目	取組事項・目標等	目標達成状況
2 信頼される行政の構築	(1) 市民に信頼される職員の育成 ・市民から信頼される職員の育成 24【H27～:高岡市人材育成基本方針の推進システムの整備・強化】 25【H27～:市民意識調査の実施及びフォローアップ】	◎達成 ・職員モラル、公務員倫理に関する研修や市民目線に立ったホスピタリティの質的向上を図る研修を実施 ・市民意識調査実施、フォローアップ
	(2) 時代に対応した行政組織 ・簡素、効率的な組織体制の構築 26【H27～:新たな行政課題へ対応した組織体制の構築】	◎達成 ・簡素、効率的な組織体制へ再編 (政策調整機能の強化・充実、ゼロカーボンなどの環境政策を環境保全と一体となって総合的に推進、市民への文化振興)
	(3) 執行体制の改善 ・現場主義による課題解決志向の徹底 27【H27～:OJT推進マニュアルの活用及びフォローアップ】	◎達成 ・OJTマニュアルの活用(人事評価研修などの機会を捉えてOJTを通じた人材育成の重要性について理解を深める)
		◎達成 ・業務改善の推進 28【H27～:業務改善意識の高揚とリスク管理の徹底(業務改善の推進)】
	(4) 職員数の適正化 ・職員数の適正化 29【R5初:平成30年度初の職員数を基準として70人の減員による適正化】 30【H30～R4:職員の適正配置と臨時的な削減措置による人件費の圧縮】	◎達成 R5初:平成30年度初の職員数を基準として106人の減員 ・人件費の圧縮:H30～R4目標:△5億円 ⇒実績:△11.8億円
		◎達成 ・多様な職員採用 31【H27～:専門知識・経験を有する外部人材の登用の推進】
◎達成 ・人事評価システムの活用 32【H28～:新たな人事評価制度の構築及び導入・活用】		

項目	取組事項・目標等	目標達成状況
3 健全財政の確保	(1)健全な財政運営 ・持続可能な財政構造の確立 33【H27～:経常収支比率80%台の堅持】	◎達成見込 R 3見込:82.7%
	(2)市税等 収納確保 対策の強 化 ・滞納整理の徹底と納税環境の整備 34【R4:市税収納率95.8%】 35【R1～:地方税共通納税システムの導入・活用】 36【R3～:自治体クラウドの導入・活用(基幹システム・滞納管理システム)】 (※再掲) 37【R3～:新たな納税環境等の整備(スマホ収納の導入)】	◎達成見込 ・市税収納率 R3見込 96.0% ・地方税共通納税システム導入 ・自治体クラウドの導入 ・スマホ収納の導入
	・収納業務の体制強化 38【H27:滞納管理システムの導入】	◎達成 ・滞納管理システム導入
	・新たな手法による歳入確保策の強化 39【～R4:受益者負担の原則の徹底と使用料・手数料の適正化】 40【～R4:ふるさと納税、広告料収入等の更なる拡充等や保有資産の活用】 41【～R4:共創による「行政の稼ぐ力」の推進(ネーミングライツ、クラウドファンディング、その他収益事業の検討)等】	◎達成 ・公共施設使用料の見直し ・ふるさと納税、広告料収入、ネーミングライツ等、収入確保に向けた取組み ・財政健全化緊急プログラム 歳入の確保 H30～R4:目標:+4億円⇒実績+12.5億円
(3)市債の 適正管理	・市債残高の抑制 42【～R4:投資的経費の抑制による事業債の発行額を年間45億円以内(臨時財政対策債等を含む総額で年間75億円以内)とし、実質公債費比率18%未満の堅持】	◎達成見込 R3見込:12.2%
(3)地方公 営企業の 経営健全 化	①病院事業 経営効率化への取り組み 43【H29～:純損益の黒字化及び累積欠損金の減少】 44【R3:次期中期経営計画の策定】	◎達成 ・H29以降連続で黒字を達成 ・第V期中期経営計画の策定
	・高岡市水道ビジョンの見直し 45【～H28:高岡市新水道ビジョンの策定】 46【～H28:高岡市下水道ビジョンの策定】 47【～H28:水道事業と簡易水道事業の統合】 48【R4:上下水道ビジョンの中間見直し】	◎達成 ・「高岡市上下水道ビジョン」の策定 ・ストックマネジメント基本計画の策定(下水道事業) ・水道事業と簡易水道事業の統合 ・上下水道ビジョン(見直し版)の策定

項目	取組事項・目標等	目標達成状況
4公有資産マネジメントの推進	<p>(1) 公共施設の機能集約化と効率的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の機能集約化と効率的運用 49【～R4: 公共施設再編計画において実施時期が「短期」とされている施設の再編】 50【～R3: 老人福祉施設における入浴機能の廃止及びその後の施設のあり方の検討】 51【H30～: スポーツ施設の持続可能な運営】 52【R3: 北部保育園の廃園】 53【H30～: 小中一貫教育による教育の充実に向けた学校の再編統合の推進】 54【～R2: 市立公民館のあり方検討】 55【～R4: 文化系施設のあり方検討】 	<p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高岡市公共施設等総合管理計画の策定 ・高岡市公共施設白書の策定 ・公共施設の総延床面積の平成47年度までに15%削減する目標を設定 ・施設類型別の検討方針を策定 ・高岡市公共施設再編計画の策定 <p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センターの廃止 ・長慶寺室内プール、S Rホームの方針決定 <p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二上保育園及び守山保育園の統合 ・能町保育園の民営化 ・北部保育園の廃止 <p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定塚小学校と平米小学校を統合し、高陵小学校開校 ・石堤小学校と東五位小学校を統合し、五位小学校開校 ・国吉小学校と国吉中学校を統合し、国吉義務教育学校開校 <p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの市立公民館運営に関する骨子の策定 <p>◎達成見込</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧市民会館の解体工事着工
	<p>(2) 施設機能の整理及び未利用財産の処分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用財産の処分と有効活用 56【H27～: 学校施設を活用した子育て環境整備に向けた課題整理・検討】 57【～R4: 公有財産の有効利用や公共施設の維持管理・統廃合の検討等の活用に向けた固定資産台帳のデータ拡充】 58【R2～: 再編後の施設・土地の機能転換・処分の検討】 ・公共施設の地元移管 	<p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校余剰教室を活用した放課後児童クラブの整備 ・固定資産台帳の整備
	<p>(3) 地域振興機能の確保に向けた施設機能の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域振興機能の集約・整理 59【H29～: 地域における施設機能の整理方針の検討】 	<p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の地元移管 (戸出会館、福岡地区集会所、防雪センター、下牧野公民館、伏木漁村センター、三千坊、伏木漁村センター、戸出町六丁目自衛消防隊小型動力消防ポンプ置場)
	<p>(4) インフラの長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフラ長寿命化の推進 60【H29～: 上・下水道施設の長寿命化推進】(上・下水道ビジョンの推進) 61【R2～: 道路維持管理計画の推進】 62【R2～: 橋梁(市道橋)の長寿命化推進】 	<p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道ビジョン(見直し版)の策定 ・道路維持管理計画の策定 ・橋りょう(トンネル)の点検結果を踏まえ、各施設の対策内容と実施時期などを整理した長寿命化修繕計画を策定
5市民と共に歩む市政	<p>(1) 共創のまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共創のまちづくりの実践 63【H29～共創意識の醸成のための支援(チャレンジ事業、フォーラムの開催、庁内・地域への情報提供、共創(協働)事業の促進)】 	<p>◎目標達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共創の指針策定、各種支援策実施 ・地域に運営を委託することで、より効果的な施設運営や地域支援を実現 ・先行2地区で、住民同士が意見交換をするグループワークを実施。ほか10地区で多機能地域自治を紹介する出前国座を開催

項 目	取組事項・目標等	目標達成状況
	<p>64【H30～市民全体のシティプロモーション(たかおかPRアンバサダーの参加人数増加)】</p> <p>・公共的サービスの多様化 63【H27～R4: 地域支援事業推進に係るNPO、ボランティアなどの育成・コーディネート】</p>	<p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民主体のシティプロモーション (たかおかPRアンバサダー事業) の開始 ◎達成 ・「生活支援コーディネーター」の配置、「支え合う地域づくり会議」の立ち上げ
(2)市民との情報の共有化	<p>多様な手法による行政情報の提供 65【H27～: 市ホームページの子育て支援サイトの充実】</p> <p>66【～R4: オープンデータ掲載数(第3段階以上: csvなど)の拡充】 67【R1～: 「市民と市政」をはじめとした市政情報配信の充実】</p>	<p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て専用サイト・アプリ「ねネットたかおか」の運用開始 ・新アプリへの移行 ・新規データの掲載、csv化を進める取組み ・多言語ユニバーサル情報配信ツール「カタログポケット」の導入
	<p>市民との直接対話機会の創出 69【H27～: テーマに基づく市民対話の充実】</p>	<p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民対話の実施 (「高岡を前へ！まちづくりミーティング」(5回)を開催)
(3)満足感のある行政サービスの提供	<p>窓口の利便性の向上 70【H27～R4: 窓口業務の改善】 71【R2～: 電子申請の推進】(再掲) 72【～R4: マイナンバーカードの普及促進】(再掲)</p>	<p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務に関する市民の利便性向上 (窓口サービス検討会議にワーキング班を置き、窓口連携による手続改善、市民サービス向上に取り組む)
	<p>満足感のある市民サービスの提供 73【H27～R4: 窓口アンケートにおける各項目の回答のうち、「良い」及び「やや良い」が占める割合80%】 74【H27～R4: 市民満足度の向上をテーマとした職場研修の推進】</p>	<p>◎達成見込</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口アンケートの実施期間を設けることにより、各課の接遇について見直す機会を設定 (R2: 「良い」及び「やや良い」80.4%) ・職員研修の継続実施、拡充 (接遇啓発チラシ及び接遇度チェック表の配布、接遇研修の実施等)